別記様式第１号

秘	指定統計第37号
農林水産省	作　物　統　計

4111

【　　枚のうち　　枚目】

入力方向

平成　　年面積調査
実測調査票

記入見本　0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

（職員記入欄）

調査年	局・農政事務所	センター	市町村	旧市町村	字	単位区番号	階層番号	新規・継続		単位		単位区台帳面積		
								新規	1	a	1	田	畑	計
								継続	2	畝歩	2			

調査日	月	日
調査員名		
連絡先電話番号		

筆別台帳（職員記入欄）				台帳基準見積り面積								
字地番	地目	面積	けい畔	田				畑			その他（非耕地）	
					水稲	主要作物	不作付地		主要作物	不作付地	地目	面積
小計												
単位区合計												

別記様式第２号

秘
農林水産省

指定統計第37号
作　物　統　計

4	1	3	1

平成　　年産作付面積調査

郵　送　調　査　票　（団体用　Ａ）

指標コード	年　産	局・農政事務所	センター	市区町村	客体番号
	2 0				

入力方向

この調査は、農林水産省が統計法（昭和22年法律第18号）に基づく指定統計調査として実施するものです。
記入する前に、「調査票の記入の仕方」をご覧ください。
なお、この調査票は秘密扱いとし、統計以外の目的に使うことは絶対ありませ

記入していただいた調査票は、　　月　　日までに同封の封筒に入れて返送

担当部署名又は担当者	ふりがな
電　話　番　号	－　　－　　（内線　　）

貴団体管内の作付状況について、以下の作物ごとに記入してください。

１　麦類の作付面積

単位：ha

作物名		作付面積（田畑計）	田				畑			
				子実用	青刈り用	飼料用		子実用	青刈り用	飼料用
小　麦	前年産									
	本年産									
秋まき（北海道のみ）	前年産									
	本年産									
春まき（北海道のみ）	前年産									
	本年産									
二条大麦	前年産									
	本年産									
六条大麦	前年産									
	本年産									
裸　麦	前年産									
	本年産									
えん麦	前年産									
	本年産									
らい麦	前年産									
	本年産									

※　作付面積は単位を「ha」とし、小数点第一位(10a単位)まで記入してください。
※　青刈り用には飼料用のほかに肥料用が含まれます。なお、作物等の被覆用として作付けされるものについては、青刈り用に含めずに田・畑欄に含めて記入してください。
※　小麦の秋まき及び春まきについては、子実用作付面積について記入してください。

引き続き次のページへお進みください。

２　作付面積の増減要因等

麦種ごとの主な増減要因（転換作物等）について記入してください。

麦種ごとに主な増減地域と増減面積について記入してください。

貴団体で把握している、管内の貴団体へは出荷されない作付団地等の状況（作付面積、作付地域等）を記入してください。

【問い合わせ先】

名　　称 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

住　　所 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

担当者名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話番号 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　ＦＡＸ番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

別記様式第３号

秘 農林水産省	指定統計第37号 作　物　統　計	4141

平成　　年産作付面積調査

郵　送　調　査　票　（団体用　Ｂ）

指標コード	年　産	局・農政事務所	センター	市区町村	客体番号
	20				

入力方向

この調査は、農林水産省が統計法（昭和22年法律第18号）に基づく指定統計調査として実施するものです。
記入する前に、「調査票の記入の仕方」をご覧ください。
なお、この調査票は秘密扱いとし、統計以外の目的に使うことは絶対ありませ

記入していただいた調査票は、　　月　　日までに同封の封筒に入れて返送

担当部署名又は担当者	ふりがな
電話番号	－　　－　　（内線　　）

貴団体管内の栽培状況（７月15日現在）について、以下の作物ごとに記入してください。

１　果樹の栽培面積

単位：ha

作物名	栽培面積 前年産	栽培面積 本年産	成園 前年産	成園 本年産
みかん				
その他かんきつ類				
りんご				
ぶどう				
日本なし				
西洋なし				
もも				
すもも				
おうとう				
うめ				
びわ				
かき				
くり				
キウイフルーツ				
パインアップル				

※　栽培面積は単位を「ha」とし、小数点第一位（10a単位）まで記入してください。

※　成園とは、生産物の販売額がその年に投入した肥料等の農業生産資材費を上回るようになった果樹園をいいます。

※　その他かんきつ類には、みかん以

引き続き次のページへお進みください。

2　茶の栽培面積

単位：ha

作物名		栽培面積	専用茶園
茶	前年産		
	本年産		

※　栽培面積は単位を「ha」とし、小数点第一位（10a単位）まで記入してください。
※　専用茶園とは、茶の栽培が１か所に１ａ以上集団的に栽培され、かつ、間作や混作がないものをいいます。
　なお、間作とは茶の畝間や株間などに副産物として草本性作物が栽培されていることをいい、混作とは園地内で茶と同時に他の木本

3　栽培面積の増減要因等

果樹（茶）ごとの主な増減要因（新植、廃園等）について記入してください。

果樹（茶）ごとに主な増減地域と増減面積について記入してください。

貴団体で把握している、管内の貴団体へは出荷されない栽培団地等の状況（栽培面積、栽培地域等）を記入してください。

【問い合わせ先】

名　　称 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

住　　所 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

担当者名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話番号 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　ＦＡＸ番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

別記様式第４号

秘
農林水産省

指定統計第37号
作　物　統　計

4	1	5	1

平成　　年産作付面積調査

郵　送　調　査　票　（団体用　C）

指標コード	年　産	局・農政事務所	センター	市区町村	客体番号
	2 0				

入力方向

この調査は、農林水産省が統計法（昭和22年法律第18号）に基づく指定統計調査として実施するものです。

記入する前に、「調査票の記入の仕方」をご覧ください。

なお、この調査票は秘密扱いとし、統計以外の目的に使うことは絶対ありません。

記入していただいた調査票は、　　月　　日までに同封の封筒に入れて

担当部署名又は担当者	ふりがな
電話番号	－　　－　　（内線　　）

貴団体管内の作付状況について記入してください。

１　大豆（乾燥子実）の作付面積

単位：ha

作物名		作付面積（田畑計）	田	畑
大豆	前年産			
	本年産			

※　作付面積は単位を「ha」とし、小数点第一位(10a単位)まで記入してください。

※　枝豆として未成熟で収穫するもの及び

２　作付面積の増減要因等

主な増減要因（転換作物等）について記入してください。	貴団体で把握している、管内の貴団体へは出荷されない作付団地等の状況（作付面積、作付地域等）を記入してください。
主な増減地域と増減面積について記入してください。	

【問い合わせ先】

名　　称 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

住　　所 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

担当者名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話番号 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　ＦＡＸ番号 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

別記様式第５号

秘 農林水産省	指定統計第37号 作　物　統　計	⇦⇦⇦ 入力方向

	年　産	局・農政事務所	センター	市区町村	客体番号
指標コード	2 0				

4 1 6 1

平成　　年産作付面積調査

郵　送　調　査　票　（団体用　Ｄ）

この調査は、農林水産省が統計法（昭和22年法律第18号）に基づく指定統計調査として実施するものです。

記入する前に、「調査票の記入の仕方」をご覧ください。

なお、この調査票は秘密扱いとし、統計以外の目的に使うことは絶対ありませんので、ありのままを記入してください。

記入していただいた調査票は、　　月　　日までに同封の封筒に入れて返送してください。

担当部署名又は担当者	ふりがな
電　話　番　号	－　　－　　（内線　　）

貴団体管内の作付状況について、以下の作物ごとに記入してください。

１　かんしょの作付面積

単位：ha

作　物　名		作付面積（田畑計）	田	畑
かんしょ	前年産			
	本年産			

２　陸稲の作付面積

単位：ha

作　物　名		作付面積（田畑計）
陸　稲	前年産	
	本年産	

※　作付面積は単位を「ha」とし、小数点第一位(10a単位)まで記入してください。

※　陸稲については、陸稲品種を田に作付けしたものは除きます。

　水稲品種を畑に作付けしたものは陸稲に含

３　作付面積の増減要因等（かんしょ、陸稲）

作物ごとの主な増減要因（転換作物等）について記入してください。

作物ごとに主な増減地域と増減面積について記入してください。

貴団体で把握している、管内の貴団体へは出荷されない作付団地等の状況(作付面積、作付地域等)を記入してください。

引き続き次のページへお進みください。

4　飼肥料作物の作付（栽培）面積

単位：ha

作物名			作付（栽培）面積（田畑計）	田	飼料用	畑	飼料用
牧草		前年産					
		本年産					
青刈り作物	青刈りとうもろこし	前年産					
		本年産					
	ソルゴー	前年産					
		本年産					
	その他	前年産					
		本年産					
	青刈り稲	前年産					
		本年産					
れんげ		前年産					
		本年産					
その他飼肥料作物		前年産					
		本年産					

※　作付（栽培）面積は単位を「ha」とし、小数点第一位（10a単位）まで記入してください。
※　青刈り作物のその他には、青刈り大豆等の飼料用や肥料用が含まれますが、青刈り麦類（小麦、二条大麦、六条
　大麦、裸麦、えん麦、らい麦）については除いてください。
　なお、青刈り稲については、飼料用として作付けしたものについて記入してください。しめ縄等の加工用や肥料

5　作付（栽培）面積の増減要因等（飼肥料作物）

作物ごとの主な増減要因（転換作物等）について記入してください。なお、作付面積がわからない場合は、作物ごとの種子販売量及び平均的な10a当たりは種量について記入してください。

作物ごとに主な増減地域と増減面積について記入してください。

【問い合わせ先】

名　　称 _____

住　　所 _____

担当者名 _____

電話番号 _____　ＦＡＸ番号 _____

別記様式第6号

指定統計第37号
作物統計

平成　年産作柄概況・(予想)収穫量・共済減収調査
水稲　作況標本(基準)　減収標本　筆調査票

秘
農林水産省

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

調査者氏名	

年産	作物	局・農政事務所	センター	作柄表示地帯	作況階層	標本単位区	筆番通し号
西暦	水稲						
2 0 : :	1 1 0	: :	: :	: : /	: :	: : : :	: : :

市町村	旧市町村	農業集落	調査区	経営体	緯度 度 分	経度 度 分	標高 m
: : :	: :	: :	: :	: :	: : : :	: : : :	: : :

共済引受方式 一筆	半相殺	全相殺	筆種類 標本筆	基準筆	地方設定コード A	B	C	D	E	F	G	H	継続年数
①	②	③	①	②	: :	: :	: :	: :	: :	: :	: :	: :	: :

筆の所在地	市町村	大字	小字	地番	氏名
					電話(　　)
耕作者住所	市町村				農家の刈取り予定日　月　日

1　観察・聞き取り事項

品種（品種名）	うるち	もち	作期 早期	普通	一期作	二期作	普通作区分 早生	中生	晩生	栽植様式 機械植え 稚苗	中苗	成苗	手植え	ばら植え	直まき	は種期 月 日	田植期 月 日	出穂期 月 日
: : :	①	②	①	②	③	④	①	②	③	①	②	③	④	⑤	⑥	: : : :	: : : :	: : : :

農家の刈取り期 月 日	刈取り時の倒伏程度 Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	農家の刈取り方法 コンバイン 普通型	自脱型	バインダー	手刈り	自脱型コンバイン刈取り条数	筆の作付面積 a	刈逃し筆	肥培管理の良否 良	普通	不良	選別にしるい使用ふるい目幅	玄米選別形態
: : : :	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	: :	: :	:	①	②	③	: . :	:

（作況基準筆調査のみ）

水管理の実施期日																			
間断かん水					中干し				深水管理(　)回				高温時のかけ流し(　)回						
開始期日 月 日				終了期日 月 日				開始期日 月 日				終了期日 月 日				開始期日 月 日				終了期日 月 日			
: : : :				: : : :				: : : :				: : : :				: : : :				: : : :			

落水期 月 日	施肥期日 基肥 月 日	追肥 中間施肥 月 日	穂肥 月 日	実肥 月 日	10a当たり窒素投入量 基肥 (銘柄) kg	追肥 中間追肥 (銘柄) kg	穂肥 (銘柄) kg
: : : :	: : : :	: : : :	: : : :	: : : :	: : : :	: : : :	: : : :

窒素投入量つづき 追肥つづき 実肥 (銘柄) kg	10a当たり有機質肥料投入量 たいきゅう肥 (種類) kg	緑肥 (種類) kg	生わら kg	その他 (種類) kg	除草剤散布回数 回	病害虫防除回数 回	土性 砂壌土(砂質系)	壌土(中間)	埴壌土(粘質系)
: : : :	: : : :	: : : :	: : : :	: : : :	: :	:	①	②	③

（記入注意）

1　倒伏程度は、全倒伏(Ⅰ)、一部穂が地につく(Ⅱ)、半倒伏(Ⅲ)、直立と半倒伏が半々(Ⅳ)、倒伏なし(Ⅴ)に区分し、該当番号を○で囲む。

2　緯度、経度、標高及び土性欄については関連資料に基づき記入すること。

3　10a当たり窒素投入量については、数回に分けて施肥する場合、その合計量を記入すること。

4211

２　栽植密度

畝幅・株間測定		畝幅（11けい間の長さ）	株間（11株間の長さ）	１㎡当たり株数(けい長)	刈取り株数
	Ⅰ	cm	cm	株(cm)	株
	Ⅱ				
	Ⅲ				
	合計	(1)	(2)		
	平均	(3) (1)/30	(4) (2)/30		
	(5)	１㎡当たり株数 $\frac{10,000}{(3)\times(4)}$	株	1㎡当たりけい長 $\frac{10,000}{(3)}$	cm

３　刈取り調査

刈取り日時	月　日	露　有　無
刈取り方法	３㎡当たり整数株刈り ① / ３㎡刈り ②	調製方法 総合選別機 ① / 段ぶるい ②

刈取り試料	全量	縮分重量
未調製生もみ重	g	
未調製乾燥もみ重		g
粗玄米重		
玄米重		10a当たり換算率 $\frac{(5)\times1,000}{\text{刈取り株数計}}$
くず米重		
玄米水分	%	

千粒重測定		1回	2回	合計
粗玄米	重量	g	g	g
	粒数	粒	粒	粒
玄米	重量	g	g	g
	粒数	粒	粒	粒
くず米	重量	g	g	g
	粒数	粒	粒	粒

再選別歩合
%

段別重量測定	総量	2.20以上	2.10	2.00	1.95	1.90
1回	g	g	g	g	g	g
2回						
合計						

1.85	1.80	1.75	1.70	1.60	底
g	g	g	g	g	g

調査箇所の略図	標本単位区内水稲作付筆数	生育、登熟の特徴
全けい数　n＝　けい 間隔　$\frac{1}{3}$　n＝　けい ランダムスタート　a ＝第　けい	筆	

（記入注意）

1　合筆の上調製した場合は、合筆調製整理表から千粒重等を転記する。

2　総合選別機により調製した場合のくず米重は1.6㎜目以下、粗玄米重は玄米重とくず米重の合計重量とする。

4 草丈・茎数・穂数・もみ数調査

調査所	調査株番号	月 日調査 草丈	茎数	月 日調査 全穂数(茎数)	無効穂数	有効穂数	全もみ数 最高穂	下・2	月 日調査 全穂数(茎数)	無効穂数	有効穂数	全もみ数 最高穂	下・2	月 日調査
		cm	本	本	本	本	粒	粒	本	本	本	粒	粒	
Ⅰ	1													
	2													
	3													
	4													
	5													
	6													
	7													
	8													
	9													
	10													
	小計													
Ⅱ	1													
	2													
	3													
	4													
	5													
	6													
	7													
	8													
	9													
	10													
	小計													
Ⅲ	1													
	2													
	3													
	4													
	5													
	6													
	7													
	8													
	9													
	10													
	小計													
合計		(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	
平均(M)		(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18) $\frac{(11)+(12)}{20}$		(15)	(16)	(17)	(18) $\frac{(11)+(12)}{20}$		
		• • • . •		• • • . •			• • • . •		• • • . •			• • • . •		
1㎡当たり(M)×(5) ただし(22)=(18)×(21)			(19)	(20)		(21)	(22)	100粒	(20)		(21)	(22)	100粒	
				• • •		• • •			• • •		• • •			

(記入注意)

1 穂数調査ですじまき(植)の場合は60cm間について調査する。

2 出穂開花期に当たり周辺4箇所調査を行う場合は、ほ場の4辺の中央において第4列目の10株ずつ、合計40株を調査する。ただし、次回に規定の箇所で30株について調査を行う。

3 全もみ数調査は、筆内の穂数調査箇所ごとに3、4、3、計10株について行う。調査株は箇所ごとの平均有効穂数に近い株とし、調査方法は当該株有効穂の最高穂とかん長順位で下位より2番目の穂の全もみ数を調査する。

5 稔実歩合調査（作況基準筆調査のみ）

出穂期後　　日調査　　（　月　日　調査）

(23)＿＿株の有効穂数の合計	本	(24)＿＿株の生穂重	g	(25)＿＿株の生もみ重	g

うち上記の100g（又は50g）ずつ2回）について調査	回数	比重選により浮いたもみのうち 不稔実もみ数	比重選により浮いたもみのうち 稔実もみ数	比重選により沈んだもみのうち 不稔実もみ数	比重選により沈んだもみのうち 稔実もみ数	全もみ数
	1回	粒	粒	粒	粒	粒
	2回					
	合計		(イ)	(ロ)	(ハ)	(A)
	(B) 沈下もみ数 (ロ)＋(ハ)	粒		(C) 稔実もみ数 (イ)＋(ハ)		粒

(26)	100g調査より＿＿株当たりへの換算率(25)/100	（単位0.01）		1穂当たり	(31) 生穂重(24)/(23)	g	1㎡当たり	(35) 生穂重(24)＊(27)	g
(27)	株当たりより1㎡当たりへの換算率(21)/(23)	有効4けた			(32) 全もみ数(28)/(23)	粒		(36) 生もみ重(25)＊(27)	g
（＿）株当たり	(28) 全もみ数(A)×(26)	粒			(33) 沈下もみ数 (29)/(23)	粒		(37) 全もみ数(28)＊(27)（100粒）	・・ ・・ ・・
	(29) 沈下もみ数 (B)×(26)	粒			(34) 稔実もみ数 (30)/(23)	粒		(38) 沈下もみ数 (29)＊(27)（100粒）	・・ ・・ ・・
	(30) 稔実もみ数 (C)×(26)	粒						(39) 稔実もみ数 (30)＊(27)（100粒）	・・ ・・ ・・

(40) 沈下もみ数歩合 (38)／(37)	%	(41) 稔実歩合 (39)／(37)	%

（記入注意）調査株数は局・農政事務所長が定める。

6 被害・共済減収調査

被害状況	被害の種類	発生時期	損傷項目	損傷程度	見積り被害歩合	平年比較		
						総合	多 並 少	
						気象被害	多 並 少	
						病害	多 並 少	
						虫害	多 並 少	

実測筆の10a当たり見積り収量	10a当たり未調製生もみ重	回帰線 (Y)	回帰線上の10a当たり収量	図表から選んだ点	図表から選んだ10a当たり収量	選んだ理由	10a当たり筆平均見積り収量
	kg	線	kg	(Y) ＋ ％ ―	kg	晴天続き・雨天 早刈り・適期刈り 被害甚・中・軽 その他（　）	kg

通し番号	標本筆の字地番	引受方式及び補償割合別 ①	半相殺方式2割超過判定 ②	10a当たり共済基準収穫量 ③	10a当たり平年収量 ④	10a当たり見積り収量 ⑤	10a当たり基準収量 ⑥	見積り被害歩合 被害総合	
調査筆				kg	kg	kg	kg		
(1)		・・	・・	・・ ・・ ・・	・・ ・・ ・・	・・ ・・ ・・	・・ ・・ ・・	・・	・・
(2)		・・	・・	・・ ・・ ・・	・・ ・・ ・・	・・ ・・ ・・			
(3)		・・	・・	・・ ・・ ・・	・・ ・・ ・・	・・ ・・ ・・			
(4)		・・	・・	・・ ・・ ・・	・・ ・・ ・・	・・ ・・ ・・			
(5)		・・	・・	・・ ・・ ・・	・・ ・・ ・・	・・ ・・ ・・			
(6)		・・	・・	・・ ・・ ・・	・・ ・・ ・・	・・ ・・ ・・			
(7)		・・	・・	・・ ・・ ・・	・・ ・・ ・・	・・ ・・ ・・			

⇦⇦⇦ 入力方向

別記様式第７号

⇦ ⇦ ⇦ 入力方向

秘
農林水産省

指定統計第37号
作　物　統　計

	年　産	局・農政事務所	センター	市区町村	客体番号
指標コード	2 0				

4	2	6	1

平成　年産　畑作物収穫量調査
郵送調査票（団体用）

この調査は、農林水産省が統計法（昭和22年法律第18号）に基づく指定統計調査として実施するものです。
記入する前に、「調査票の記入の仕方」をご覧ください。
なお、この調査票は秘密扱いとし、統計以外の目的に使うことは絶対ありませんので、ありのままを記入してください。

記入していただいた調査票は、　　月　　日までに同封の封筒に入れて返送してください。

担当部署名又は担当者名	ふりがな
電　話　番　号	－　　－　　（内線　　）

【１】　作付面積及び集荷量について

本年産の作付面積及び集荷量について、以下の作物ごとに記入してください。

作　物　名	年産	作付面積	集荷量	うち、検査基準以上
	前年産	ha	t	t
	本年産			
	前年産			
	本年産			
	前年産			
	本年産			
	前年産			
	本年産			

注：１　作付面積は単位を「ha」とし、小数第一位（10a単位）まで記入してください。
２　「うち、検査基準以上」欄には、陸稲は３等以上のものを、麦類は１等、２等に加え規格外のうち規格外Aとされたものの合計を、大豆は「特定加工用」以上のものを記入してください。
なお、かんしょについては記入の必要はありません。
３　検査を受けないものや、提出日までに検査を受けていない場合は集荷された農作物の状態から検査基準以上となる量を見積もって記入してください。

【２】　生育、作柄及び被害の状況について

生育、作柄及び被害の発生状況等について、記入してください。

【問い合わせ先】

名　　称
住　　所
担当者名
電話番号　　ＦＡＸ番号

別記様式第８号

秘
農林水産省

指定統計第３７号
作　物　統　計

指標コード						
局・農政事務所	センター	市　区 町　村	旧市区 町　村	農業集落	調査区	経営体

平成　　年産

畑作物収穫量調査郵送調査票（経営体用）

（〇〇〇用）

この調査は、農林水産省が統計法（昭和22年法律第18号）に基づく指定統計調査として実施するものです。

記入する前に、「調査票の記入の仕方」をご覧ください。

なお、この調査票は秘密扱いとし、統計以外の目的に使うことは絶対ありませんので、ありのままを記入してください。

記入していただいた調査票は、　　月　　日までに同封の封筒に入れて返送してください。

☆　調査票の記入に当たっては、鉛筆またはボールペンではっきりと記入してください。

☆　調査及び調査票の記入に当たって、不明な点等がありましたら、下記の「問い合わせ先」にお問い合わせください。

【問い合わせ先】

名　　称

住　　所

担当者名

電話番号　　**ＦＡＸ番号**

【１】　生産の状況について

１　本年産の作付面積、収穫量、出荷量及び自家消費等について記入してください。

記入上の注意

自家消費を含めたすべての作付面積を記入してください。
（陸稲、麦類及び大豆については、子実の生産を目的として作付したものの面積とし、青刈りするものや枝豆は除きます。）
なお、さつまいもについては、加工用目的で作付けされた面積

農協や市場へ出荷したものや、消費者に直接販売したものなど、販売した全ての量を記入してください。
なお、今後販売する目的で保管しているものも出荷量に含めてく

自家用、贈答用、翌年産の種子用などに利用するものを記入してください。

	作付面積 ① ha（町 （反 a（畝	収穫量 ②＝③＋④ kg	出荷量 ③ kg	自家消費等の量 ④ kg

注：　出荷量について、「俵」、「袋」及び「ｔ」等で把握されている場合は、「kg」に換算して記入してください。（例：30kg紙袋で150袋出荷した場合→4,500kgと記入）

２　１で記入した出荷量について、該当する出荷先に出荷した割合を記入してください。

記入上の注意

- 「消費者へ直接販売」とは、直売所、庭先販売、宅急便、インターネット販売などです。
- 「その他」は、加工業者、消費者へ直接販売、市場、農協以外の集出荷団体及び農協のいずれにも該当しない出荷先の割合を記入してください。なお、〔　　〕欄は、その他の出荷のうち、最も多い出荷先を記入してください。

- でんぷん原料用のさつまいもの出荷で、農協経営のでんぷん工場へ出荷した場合は「農

	加工業者	消費者へ直接販売	市場	農協以外の集出荷団体	農協	その他	合計
	%	%	%	%	%	〔　　〕%	100%
	%	%	%	%	%	〔　　〕%	100%
	%	%	%	%	%	〔　　〕%	100%
	%	%	%	%	%	〔　　〕%	100%

【２】　作柄及び被害の状況について

１　本年産の作柄・被害の状況は、前年産に比べてどうでしたか。
（それぞれ該当する欄に○印を記入してください。）

		良かった	前年並み	悪かった
作柄の良否				

		少なかった	前年並み	多かった
被害の多少				

２　被害が多かったとお答えの場合は、その要因について記入してください。
（該当するすべての欄に○印を記入してください。）

	高温	低温	日照不足	多雨	少雨	台風	病害	虫害	その他

【３】　その他

本年、全く作付けがなかった方にお聞きします。
（該当するものに○印を記入してください。）

	本年は作付けしなかったが、来年以降は作付けする予定がある
	来年以降も作付けを行う予定はない
	全てを委託しているのでわからない

調査はここで終わりです。ご協力ありがとうございました。

別記様式第９号

秘
農林水産省

指定統計第３７号
作　物　統　計

指標コード						
局・農政事務所	センター	市　区 町　村	旧市区 町　村	農業集落	調査区	経営体

平 成　　年産

飼　料　作　物　収　穫　量　調　査

郵 送 調 査 票 （ 経営体用 ）

この調査は、農林水産省が統計法（昭和22年法律第18号）に基づく指定統計調査として実施するものです。

記入する前に、「調査票の記入の仕方」をご覧ください。

なお、この調査票は秘密扱いとし、統計以外の目的に使うことは絶対ありませんので、ありのままを記入してください。

記入していただいた調査票は、　　月　　日までに同封の封筒に入れて返送してください。

☆　調査票の記入に当たっては、鉛筆またはボールペンではっきりと記入してください。

☆　調査及び調査票の記入に当たって、不明な点等がありましたら、下記「問い合わせ先」にお問い合わせください。

【問い合わせ先】

名　　称

住　　所

担当者名

電話番号　　ＦＡＸ番号

【１】　牧草について

１　本年産の栽培面積を記入してください。

記入上の注意

- 「栽培面積」には、牧草専用地、田や畑のほか農地以外での栽培など、牧草の栽培に利用した全ての面積を記入してください。
- 同じ土地で複数回牧草を収穫した場合であっても、「栽培面積」は、収穫した延べ面

	ha（町）	（反）	a（畝）
栽培面積			

２　本年産の収穫量を記入してください。

収穫量を重量で把握している場合は「ア」に、ラッピング個数やサイレージの生産量（容積）で把握している場合は「イ」に記入してください。

ア　収穫量が重量でわかる場合

刈り取り時期ごとの収穫量を記入のうえ、「計」欄に合計の収穫量を記入してください。
（各期ごとにわからない場合は、「計」のみの記入でも結構です。）

	収穫量
計	kg
１番刈り	kg
２番刈り	kg
３番刈り	kg
４番刈り	kg

イ　ラッピング個数等がわかる場合

記入上の注意

- ラッピングマシーンを用いている場合は、「ラッピング個数」欄に、ラッピング個数及び１個当たりの重量を記入してください。
- 乾燥後、梱包を行っている場合は、「梱包個数」欄に梱包個数及び１個当たりの重量を記入してください。
- 簡易サイロを利用した場合は、使用したすべてのサイロの容積の合計

＜ラッピング又は梱包を行っている場合＞

	ラッピング個数	梱包個数
個数	個	個
１個当たりのおおよその重量	kg	kg

＜簡易サイロを用いている場合＞

サイロの容積	m^3

【２】　青刈りとうもろこしについて

１　本年産の栽培面積及び収穫量を記入してください。

	ha（町）	a（反）	a（畝）	収穫量
栽 培 面 積				kg

２　<u>１で収穫量が不明な場合は、使用したサイロの容積を記入</u>してください。

＜固定サイロを用いている場合＞

サイロの容積	m^3
充　足　率	%

＜簡易サイロを用いている場合＞

サイロの容積	m^3

記入上の注意

・　充足率は、固定サイロの容積に対する本年の利用割合を記入してください。

・　簡易サイロを利用した場合は、使用したすべ

【３】　ソルゴーについて

１　本年産の栽培面積及び収穫量を記入してください。

	ha（町）	a（反）	a（畝）	収穫量
栽 培 面 積				kg

２　<u>１で収穫量が不明な場合は、使用したサイロの容積を記入</u>してください。

＜固定サイロを用いている場合＞

サイロの容積	m^3
充　足　率	%

＜簡易サイロを用いている場合＞

サイロの容積	m^3

記入上の注意

・　充足率は、固定サイロの容積に対する本年の利用割合を記入してください。

引き続き次のページへお進みください。

【４】　作柄及び被害の状況について

１　本年産の作柄・被害の状況は、前年産に比べてどうでしたか。
（それぞれ該当する欄に〇印を記入してください。）

	作柄の良否			被害の多少		
	良かった	前年並み	悪かった	少なかった	前年並み	多かった
牧　草						
青　刈　り とうもろこし						
ソ ル ゴ ー						

２　被害が多かったとお答えの場合は、その要因について記入してください。

（該当するすべての欄に〇印を記入してください。）

	被害の要因								
	高温	低温	日照 不足	多雨	少雨	台風	病害	虫害	その他
牧　草									
青　刈　り とうもろこし									
ソ ル ゴ ー									

【５】　その他

本年、全く栽培を行わなかった方にお聞きします。
（該当するものに〇印を記入してください。）

	本年は栽培しなかったが、来年以降は栽培する予定
	来年以降も栽培を行う予定はない
	全て作業を委託しているので、分からない

調査はここで終わりです。ご協力ありがとうございました。

別記様式第11号

⇦ ⇦ ⇦ 入力方向

秘
農林水産省

指定統計第３７号
作　物　統　計

4	2	7	1

指標コード													
年　産				局・農政事務所		センター		市区町村			客体番号		
2	0	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:

平成　　年産

てんさい収穫量調査

郵送調査票

この調査は、農林水産省が統計法（昭和22年法律第18号）に基づく指定統計調査として実施するものです。

記入する前には、「調査票の記入の仕方」をご覧ください。

なお、この調査票は秘密扱いとし、統計以外の目的に使うことは絶対ありませんので、ありのままを記入してください。

記入していただいた調査票は、　　月　　日までに同封の封筒に入れて返送してください。

担当部署名又は担当者名	ふりがな
電話番号	－　　－　　（内線　　）

【問い合わせ先】

名　　称

住　　所

担当者名

電話番号　　ＦＡＸ番号

【１】　作付面積及び集荷量について

貴事業場管内の本年産てんさいの作付面積及び集荷量について記入してください。

	作付面積 ha（町）　a（反）　（畝）	集荷量 t
前年産		
本年産	：：：：：：：	：：：：：：：

【２】　作柄及び被害の状況について

１　本年産の作柄・被害の状況は、前年産に比べてどうでしたか。
（該当する欄に○印を記入してください。）

	良かった	前年並み	悪かった
作柄の良否	1	2	3

	少なかった	前年並み	多かった
被害の多少	1	2	3

２　被害が多かったとお答えの場合は、その要因について記入してください。

（該当するものすべての欄に○印を記入してください。）

	融雪が遅かった	高温	低温	日照不足	多雨	少雨	台風	病害	虫害	その他
被害の要因	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

病害、虫害及びその他については、被害の内容を具体的に記入してください。

３　作付面積の増減理由や、被害による収量への影響以外の要因（作付品種の変化等）があれば
記入してください。

別記様式第12号

⇦ ⇦ ⇦ 入力方向

秘
農林水産省

指定統計第３７号
作　物　統　計

4	2	8	1

指標コード													
年　産				局・農政事務所		センター		市区町村			客体番号		
2	0	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:

平成　　年産

さとうきび収穫量調査
郵送調査票

この調査は、農林水産省が統計法（昭和22年法律第18号）に基づく指定統計調査として実施するものです。

記入する前に、「調査票の記入の仕方」をご覧ください。

なお、この調査票は秘密扱いとし、統計以外の目的に使うことは絶対ありませんので、ありのままを記入してください。

記入していただいた調査票は、　　月　　日までに同封の封筒に入れて返送してください。

担当部署名又は担当者名	ふりがな
電話番号	－　　－　　（内線　　）

【問い合わせ先】

名　　称

住　　所

担当者名

電話番号　　ＦＡＸ番号

【１】　栽培面積、収穫面積及び集荷量について

貴事業場管内の本年産さとうきびの栽培面積、収穫面積及び集荷量について記入してください。

作　型	年　産	栽培面積 ha a（町）（反）（畝）	収穫面積 ha a（町）（反）（畝）	集　荷　量 t
夏　植	前　年　産			
	本　年　産	: : : : : :	: : : : : :	: : : : : :
春　植	前　年　産			
	本　年　産	: : : : : :	: : : : : :	: : : : : :
株　出	前　年　産			
	本　年　産	: : : : : :	: : : : : :	: : : : : :

【２】　作柄及び被害の状況について

１　本年産の作柄・被害の状況は前年産に比べてどうでしたか。
（それぞれ該当する欄に○印を記入してください。）

作　型	作柄の良否		
	良かった	前年並み	悪かった
夏　植	①	②	③
春　植	①	②	③
株　出	①	②	③

作　型	被害の多少		
	少なかった	前年並み	多かった
夏　植	①	②	③
春　植	①	②	③
株　出	①	②	③

２　被害が多かったとお答えの場合は、その要因について記入してください。
（該当するものすべての欄に○印を記入してください。）

作　型	被害の要因							
	高温	低温	日照不足	多雨	少雨	台風	病害	その他
夏　植	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
春　植	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
株　出	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧

台風、病害及びその他については、被害の内容を具体的に記入してください。

３　栽培（収穫）面積の増減理由や、被害による収量への影響以外の要因（作付品種の変化等）があれば記入してください。

秘
農林水産省

指定統計第37号
作　物　統　計

別記様式第21号

平成　年

被　害　調　査　票

調査筆の種類	標　調　応

作　物　名	
センター名	
調査者氏名	
調 査 期 日	月　日

筆の所在地	設計単位	作況階層	標本単位区	筆の通し番号
	市 町 村	大字（町）	小　字	地　番

調査箇所	被害種類									
	被害発生時の生育段階									
	損傷調査項目									
Ⅰ	1									
	2									
	3									
	4									
	5									
Ⅱ	6									
	7									
	8									
	9									
	10									
Ⅲ	11									
	12									
	13									
	14									
	15									
合　計										
平　均										
損傷歩合										
見積り（実測）被害歩合	調査項目別									
	被害種類別									
	計									
筆平均見積り被害歩合	被害種類別									
	被害総合									
適用した尺度（番号）										

注：1　この調査票は、標本筆(単位区)の損傷見積り(実測)調査の調査票及び被害調査筆・被害応急調査の損傷調査票として使用する。
2　被害損傷実測調査の損傷調査項目は、被害の種類、被害発生時期などから局・農政事務所長又はセンター長が定める。
3　損傷歩合欄は、損傷項目が損傷歩合を現さないような項目の場合（例えば被害穂数、被害粒数等）は、「平均」についての損傷歩合（例えば被害穂数歩合、被害粒数歩合）を記入する。
4　見積り(実測)被害歩合は、損傷見積り(実測)調査結果に減収推定尺度を適用して決める。
5　見積り(実測)被害歩合の計は、見積り(実測)を行った被害種類を合計した被害歩合とし、筆平均見積り被害歩合の被害総合は、全ての被害を総合して見積った被害歩合とする。
6　調査筆の種類欄の「標」は被害標本筆、「調」は被害調査筆、「応」は被害応急調査筆を示し、該当に○印を付す。
7　調査株数は、１箇所５株とする。

秘
農林水産省

指定統計第37号
作　物　統　計

別記様式第22号

4 4 1 1

入力方向

平成　　年産　共済減収調査
麦類減収標本調査票

記入見本 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

年　産	作物名	局・農政事務所	センター	市町村	標本単位区	筆の通し番　号	調査者氏名
2 0							

筆の所在地	市町村　大字　小字　地番	氏名
耕作者住所	市町村	電話（　　）

1　観察・聞き取り事項

品　種	栽　培　様　式			は種期	出穂期	農家の刈取り期
	ばらまき	すじまき・広幅まき	株(点)まき			
	1	2	3	月　日	月　日	月　日

2　刈(イ)　栽植密度・単位当たり換算率

畝幅・株間測定							調査箇所の略図
調査箇所	すじまき・広幅まき・株(点)まき栽培						全けい数 n　＝　けい 間隔 1/3n　＝　けい ランダムスタートa　＝　第　けい
	(1) 畝幅 [6けい間の長さ]	(2) 株間 [11株間の長さ]	(3) 平均畝幅 (1)/5	(4) 平均株間 (2)/10	(5) 1㎡当たりけい長(株数)	刈取り株数	
Ⅰ	cm	cm	0.1cm	0.1cm	cm (0.1株)	株	
Ⅱ							
Ⅲ							
合計	(6)	(8)				(10)	
平均	(7) (6)/15 .	(9) (8)/30 .					

(11) 栽培方法別10a当たり	ばらまき	すじまき・広幅まき	株（点）まき
	333.3又は250	333.3	$\frac{10,000,000}{(7)\times(9)\times(10)}$ （単位：0.1）

作付面積利用度による修正				
	畝落とし栽培の明らかでない場合	(12) 標準畝幅 cm		(15) 修正率（単位：0.001） (7)/(12) .
	ばらまき栽培で排水溝がある場合	(13) ほ場の本地面積 a	(14) 排水溝の面積 a	(15) 修正率（単位：0.001） $\frac{(13)-(14)}{(13)}$.

3　調査筆の10 当たり見積り収量

刈 取 り 日	(16) 生穂重の重量	(17) 10 a 当たり生穂重	(18) 修正10 a 当たり生穂重
月　　日		kg	kg

10a当たり生穂重 (17)又は(18)	(　)	上の 10 当たり収量	図　から　んだ点	図　から　んだ 10 当たり収量	んだ	10 a 当たり筆 平均見積り収量
kg		kg	(　)	kg	晴天続き　・　雨天 早刈り・適期刈り 被害　甚・中・軽	kg

通し番号		標本筆の字地番	引受方式及び割合	10 a 当たり 共 済 基 準 kg	10 a 当たり 平均収量 kg	10 a 当たり 見積り収量 kg	備　　考
調査筆	(1)						
	(2)						
	(3)						
	(4)						
	(5)						

（記入注意）

1　刈取りの調査対　　及び（5）算出式は　のとおりである。

栽培様式	ばらまき	すじまき・広幅まき	点(株)まき
刈取り	1 ㎡ (円形刈り)	1 ㎡当たり けい長	1 ㎡当たり 株数
算出式		10,000　(3)	$\frac{10,000}{(3)\times(4)}$

2　(11)のばらまきで333.3は１㎡３箇所刈り、250は１㎡４箇所刈りの場合である。

3　(18)の修正10 当たり生穂重は(15)の作付面積利用度による修正率を　じて算出する。

秘
農林水産省

指定統計第37号
作 物 統 計

⇦ ⇦ ⇦ **入 力 方 向**

別記様式第23号

4	4	2	1

平成　　年産　共済減収調査

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

豆 類 減 収 標 本 調 査 票

調査者氏名	
調査者住所	
耕作者氏名	

年産	局・農政事務所	支庁	センター	市町村	センター農家番号	方式区分	調査方法
西暦							半相殺方式の場合
: : : :	: :	: :	: :	: :	: : :	1 2	1 2

方式区分（番号）	一筆方式 (1)	半相殺方式 (2)	調査方法（番号）	1筆実測 (1)	2筆実測 (2)	
作物、品種区分、作物区分（番号）	大豆 (431)	小豆（大納言 (441)、その他 (442)）	いんげん	手亡類 (451)		
	金時類 (453) 及びうずら類 (452)	大福類 (454)、とら豆類 (455) 及びべにばないんげん (456)				

1 調査筆単位の記入事項

第 1 筆

農家の刈取り予定日　月　日

筆の所在地		調査月日　月　日
作物区分名（番号）	田畑別 田 畑	作付面積
: : :	1 2	a
栽培様式	直まき・移植・間作・広幅・高畝・平畝・すじまき・畝落し・支柱	
共済引受面積	10a当たり共済基準収穫量	発芽不能又は移植不能 該当しない 該当する
: : : : a	: : : kg	1 2

刈取り箇所	普通（支柱）栽培		すじまき栽培		
	全けい数 = けい ランダムスタートa = 第 けい 間隔 = けい （刈り取り株数(n) = 株）		全けい数 = けい ランダムスタートa = 第 けい 間隔 = けい		
	畝幅（6けい間）	株間（11株間）	6けい間の長さ (3)	畝幅 (4)=(3)/5	1㎡当たりけい長 10,000/(4)
第1箇所	cm	cm	cm	cm	cm
第2箇所	cm	cm	cm	cm	cm
第3箇所	cm	cm	cm	cm	cm
合計	(1) cm	(2) cm		(5) cm	(6) cm
平均	(7) cm (1)/15 .	(8) cm (2)/30 .		(9) cm (5)/3 .	(10) cm (6)/3 .
10a当たり換算率	(11) 666,667/(7)×(8)　[10,000,000/[(7)×(8)]×n]	（有効3桁）	(12) 333.333		

刈取り重量〔刈取り箇所合計〕 (13)	乾燥調製後の上粒重	乾燥調製後のくず粒重	被害の状況等
	g	g	
10a当たり重量 (13)×(11)、(12)	: : : kg	: : : kg	

第 2 筆

農家の刈取り予定日　月　日

筆の所在地		調査月日　月　日
作物区分名（番号）	田畑別 田 畑	作付面積
: : :	1 2	a
栽培様式	直まき・移植・間作・広幅・高畝・平畝・すじまき・畝落し・支柱	
共済引受面積	10a当たり共済基準収穫量	発芽不能又は移植不能 該当しない 該当する
: : : : a	: : : kg	1 2

刈取り箇所	普通（支柱）栽培		すじまき栽培		
	全けい数 = けい ランダムスタートa = 第 けい 間隔 = けい （刈り取り株数(n) = 株）		全けい数 = けい ランダムスタートa = 第 けい 間隔 = けい		
	畝幅（6けい間）	株間（11株間）	6けい間の長さ (3)	畝幅 (4)=(3)/5	1㎡当たりけい長 10,000/(4)
第1箇所	cm	cm	cm	cm	cm
第2箇所	cm	cm	cm	cm	cm
第3箇所	cm	cm	cm	cm	cm
合計	(1) cm	(2) cm		(5) cm	(6) cm
平均	(7) cm (1)/15 .	(8) cm (2)/30 .		(9) cm (5)/3 .	(10) cm (6)/3 .
10a当たり換算率	(11) 666,667/(7)×(8)　[10,000,000/[(7)×(8)]×n]	（有効3桁）	(12) 333.333		

刈取り重量〔刈取り箇所合計〕 (13)	乾燥調製後の上粒重	乾燥調製後のくず粒重	被害の状況等
	g	g	
10a当たり重量 (13)×(11)、(12)	: : : kg	: : : kg	

2 標本農家単位の記入事項

共済引受面積	: : : : : : a	共済基準収穫量	: : : : : : : kg	共済引受筆数	: : : : : 筆

4441

⇦ ⇦ ⇦ 入 力 方 向

別記様式第24号

秘
農林水産省

指定統計第37号
作 物 統 計

記入見本 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

平 成　　産共済減収調査

ばれいしょ減収標本調査票

調査者氏名	
耕作者住所	
耕作者氏名	

年産 / 西暦	作物	農政事務所	支庁	センター	市町村	センター別農家番号	用途区分	調査方法
: : : :	: : :	: :	: :	: :	: : :	: : :	① ② ③ ④	① ②

作物（番号）	春植えばれいしょ(330)	秋植えばれいしょ(340)	調査方法(番号)	1筆実測(1)	2筆実測(2)
用途区分（番号）	でん粉加工用(1)	食品加工用(2)	種子用(3)	でん粉加工用、食品加工用、種子用以外(4)	

1　調査筆単位の記入事項

	第1筆	第2筆
農家の堀取り予定日	月 日	月 日
筆の所在地		
調査月日	月 日	月 日
作付面積	田畑別（田・畑） a	田畑別（田・畑） a
品種（番号）	: : :	: : :
収穫期	月 日ごろ	月 日ごろ
栽培様式	平畝・高畝	平畝・高畝

	第1筆		第2筆	
共済引受面積	: : : : a		: : : : a	
10a当たり共済基準収穫量	: : : : kg		: : : : kg	
発芽不能又は移植不能	① ②		① ②	
堀取り箇所	全けい数n = けい ランダムスタートa = 第 けい 間隔 = けい		全けい数n = けい ランダムスタートa = 第 けい 間隔 = けい	
	畝幅（6けい間）	株間（11株間）	畝幅（6けい間）	株間（11株間）
第1箇所	cm	cm	cm	cm
第2箇所	cm	cm	cm	cm
第3箇所	cm	cm	cm	cm
合計	(1) cm	(2) cm	(3) cm	(4) cm
平均 (1)/15、(2)/30、(3)/15、(4)/30	(5) . cm	(6) . cm	(7) . cm	(8) . cm
(9) 10a当たり換算率	333,333/(5)×(6)、※ 666,667/(5)×(6)	（有効3けた）	333,333/(7)×(8)、※ 666,667/(7)×(8)	（有効3けた）
	上いも	くずいも / 被害いも	上いも	くずいも / 被害いも
(10) 堀取りいも重（3箇所合計）(単位0.01)	. kg	. kg / . kg	. kg	. kg / . kg
10a当たり重量 (9)×(10)	: : : : kg	: : : : kg / : : : : kg	: : : : kg	: : : : kg / : : : : kg
被害の状況等				

2　標本農家単位の記入事項

共済引受面積	共済基準収穫量	共済引受筆数	調査筆のうち植物防疫法等不合格筆数
: : : : a	: : : : : : : kg	: : : 筆	: 、 筆

秘

総務省承認　No.２６８４９
承認期限　　平成22年３月31日まで
農林水産省

4 1 7 1

指標コード	年　産	局・農政事務所	センター	市区町村	客体番号
	2 0				

平成　　年産　特定作物統計調査

豆類作付面積調査　郵送調査票（団体用）

入力方向

この調査は、農林水産省が統計報告調整法第４条第１項の規定に基づき総務大臣の承認を受けた承認統計として実施するものです。
記入する前に、「調査票の記入の仕方」をご覧ください。
なお、この調査票は秘密扱いとし、統計以外の目的に使うことは絶対ありませんので、ありのままを記入してください。

記入していただいた調査票は、　　月　　日までに同封の封筒に入れて返送してください。

担当部署名又は担当者	ふりがな
電話番号	－　　－　　（内線　　）

貴団体管内の作付状況について、以下の作物ごとに記入してください。

1　豆類（乾燥子実）の作付面積

単位：ha

作物名		作付面積（田畑計）	田	畑
小豆	前年産			
	本年産			

※　作付面積は単位を「ha」とし、小数点第一位(10a単位)まで記入してください。（以下、各作物同じ。）

単位：ha

作物名		作付面積（田畑計）	田	畑
らっかせい	前年産			
	本年産			

単位：ha

作物名		作付面積（田畑計）	田	畑
いんげん	前年産			
	本年産			
金時	前年産			
	本年産			
手亡	前年産			
	本年産			

※　いんげんの品種別内訳については、北海道のみ記入してください。

引き続き次のページへお進みください。

２　作付面積の増減要因等

作物ごとの主な増減要因（転換作物等）について記入してください。

作物ごとに主な増減地域と増減面積について記入してください。

貴団体で把握している、管内の貴団体へは出荷されない作付団地等の状況（作付面積、作付地域等）を記入してください。

【問い合わせ先】

名　　称 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

住　　所 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

担当者名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話番号 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　ＦＡＸ番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

秘

総務省承認　No.２６８５０
承認期限　　平成22年３月31日まで

農林水産省

4	7	1	1

⇦ ⇦ ⇦ 入力方向

	年産	局・農政事務所	センター	市区町村	客体番号
指標コード	2 0				

平成　　年産　特定作物統計調査
豆類収穫量調査 郵送調査票（団体用）

この調査は、農林水産省が統計報告調整法第４条第１項の規定に基づき総務大臣の承認を受けた承認統計として実施するものです。
記入する前に、「調査票の記入の仕方」をご覧ください。
なお、この調査票は秘密扱いとし、統計以外の目的に使うことは絶対ありませんので、ありのままを記入してください。

記入していただいた調査票は、　　月　　日までに同封の封筒に入れて返送してください。

担当部署名又は担当者名	ふりがな
電話番号	－　　－　　（内線　　）

【１】　作付面積及び集荷量について

本年産の作付面積及び集荷量について、以下の作物ごとに記入してください。

作物名	年産	作付面積	集荷量	うち、検査基準以上
小豆	前年産	ha	t	t
	本年産			
いんげん	前年産			
	本年産			
金時	前年産			
	本年産			
手亡	前年産			
	本年産			
らっかせい	前年産			
	本年産			

注：１　作付面積は単位を「ha」とし、小数点第一位（10ａ単位）まで記入してください。
　　２　小豆、いんげんの「うち、検査基準以上」欄には、３等以上の量を記入してください。
　　３　検査を受けないものや、調査票の提出日までに検査を受けていない場合は、集荷された農作物の状態から検査基準以上となる量を見積もって記入してください。
　　４　いんげんの品種別内訳については、北海道のみ記入してください。

引き続き次のページへお進みください。

【２】　生育、作柄及び被害の状況について

生育、作柄及び被害の発生状況等について、記入してください。

【問い合わせ先】

名　　称＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

住　　所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

担 当 者 名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電 話 番 号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　ＦＡＸ番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

秘

総務省承認　№２６８５１
承認期限　　平成22年３月31日まで

農林水産省

4	7	2	1

⇦ ⇦ ⇦ 入力方向

	年　産	局・農政事務所	センター	市区町村	客体番号
指標コード	2 0				

平成　　年産　特定作物統計調査
そば作付面積調査・収穫量調査
郵送調査票（団体用）

この調査は、農林水産省が統計報告調整法第４条第１項の規定に基づき総務大臣の承認を受けた承認統計として実施するものです。
記入する前に、「調査票の記入の仕方」をご覧ください。
なお、この調査票は秘密扱いとし、統計以外の目的に使うことは絶対ありませんので、ありのままを記入してください。

記入していただいた調査票は、　　月　　日までに同封の封筒に入れて返送してください。

担当部署名又は担当者名	ふりがな
電話番号	－　　－　　（内線　　）

【１】　作付面積及び集荷量について

本年産の作付面積及び集荷量について、記入してください。

作物名	年産	作付面積	田	畑
そば	前年産	ha	ha	ha
	本年産	: : : : . :	: : : : . :	: : : : . :

作物名	年産	集荷量	うち、検査基準以上
そば	前年産	t	t
	本年産	: : : : :	: : : : :

注：１　作付面積は単位を「ha」とし、小数点第一位（10ａ単位）まで記入してください。
　　２　「うち、検査基準以上」欄には、３等以上の量を記入してください。
　　３　検査を受けないものや、調査票の提出日までに検査を受けていない場合は、集荷された農作物の状態から検査基準以上となる量を見積もって記入してください。

引き続き次のページへお進みください。

【２】　面積、生育、作柄及び被害の状況について

１　作付面積の増減要因等について記入してください。

主な増減要因（転換作物等）について記入してください。

主な増減地域と増減面積について記入してください。

貴団体で把握している、管内の貴団体へは出荷されない作付団地等の状況（作付面積、作付地域等）を記入してください。

２　生育、作柄及び被害の発生状況等について記入してください。

【問い合わせ先】

名　　称

住　　所

担 当 者 名

電 話 番 号　　ＦＡＸ番号

【１】　生産の状況について

１　本年産の作付面積、収穫量、出荷量及び自家消費等について記入してください。

記入上の注意

自家消費を含めたすべての作付面積を記入してください。
子実の生産を目的として作付したものの面積とし、「さやいんげん」など、野菜として収穫するものは除いてください。

農協や市場へ出荷したものや、消費者に直接販売したものなど、販売した全ての量を記入してください。
なお、今後販売する目的で保管しているものも出荷量に含めてください。

自家用、贈答用、翌年産の種子用などに利用するものを記入してください。

	作付面積 ① ha（町）（反） a（畝）	収穫量 ②＝③＋④ kg	出荷量 ③ kg	自家消費等の量 ④ kg

注：　出荷量について、「俵」、「袋」及び「ｔ」等で把握されている場合は、「kg」に換算して記入してください。（例：30kg紙袋で150袋出荷した場合→4,500kgと記入）

２　１で記入した出荷量について、該当する出荷先に出荷した割合を記入してください。

記入上の注意

- 「消費者へ直接販売」とは、直売所、庭先販売、宅急便、インターネット販売などです。
- 「その他」は、加工業者、消費者へ直接販売、市場、農協以外の集出荷団体及び農協のいずれにも該当しない出荷先の割合を記入してください。なお、〔　　〕欄は、その

単位：％

	加工業者	消費者へ直接販売	市場	農協以外の集出荷団体	農協	その他	合計
						〔　　〕	100%
						〔　　〕	100%
						〔　　〕	100%

秘

総務省承認　№２６８５２
承認期限　平成22年３月31日まで

農林水産省

4	7	3	1

⇦ ⇦ ⇦ 入力方向

指標コード							
年　産	局・農政事務所	センター	市　区町　村	旧市区町　村	農業集落	調査区	経営体
2 0 : :	: :	: :	: : :	: :	: : :	: :	: : :

平 成　　年　特定作物統計調査

豆類・そば収穫量調査 郵送調査票（経営体用）

（ ○○○○用 ）

この調査は、農林水産省が統計報告調整法第４条第１項の規定に基づき総務大臣の承認を受けた承認統計として実施するものです。

記入する前に、「調査票の記入の仕方」をご覧ください。

なお、この調査票は秘密扱いとし、統計以外の目的に使うことは絶対ありませんので、ありのままを記入してください。

記入していただいた調査票は、　　月　　日までに同封の封筒に入れて返送してください。

☆　調査票の記入に当たっては、鉛筆またはボールペンではっきりと記入してください。

☆　調査及び調査票の記入に当たって、不明な点等がありましたら、下記の「問い合わせ先」にお問い合わせください。

【問い合わせ先】

名　　称 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

住　　所 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

担当者名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話番号 ＿＿＿＿＿＿＿＿　ＦＡＸ番号 ＿＿＿＿＿＿＿＿

【２】　作柄及び被害の状況について

１　本年産の作柄・被害の状況は、前年産に比べてどうでしたか。

（それぞれ該当する欄に○印を記入してください。）

	作柄の良否		
	良かった	前年並み	悪かった
	○	○	○
	○	○	○
	○	○	○

	被害の多少		
	少なかった	前年並み	多かった
	○	○	○
	○	○	○
	○	○	○

２　被害が多かったとお答えの場合は、その要因について記入してください。

（該当するすべての欄に○印を記入してください。）

	高温	低温	日照不足	多雨	少雨	台風	病害	虫害	その他
	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【３】　その他

本年、全く作付けがなかった方にお聞きします。

（該当するものに○印を記入してください。）

○	本年は作付けしなかったが、来年以降は作付けする予定がある
○	来年以降も作付けを行う予定はない
○	全てを委託しているのでわからない

調査はここで終わりです。ご協力ありがとうございました。

秘

総務省承認　No.２６８５３
承認期限　　平成22年３月31日まで

農林水産省

4	7	4	1

⇦ ⇦ ⇦ 入力方向

	年　産	局・農政事務所	センター	市区町村	客体番号
指標コード	2 0				

平成　　年産　特定作物統計調査
こんにゃくいも作付面積調査・収穫量調査
郵送調査票（団体用）

この調査は、農林水産省が統計報告調整法第４条第１項の規定に基づき総務大臣の承認を受けた承認統計として実施するものです。

記入する前に、「調査票の記入の仕方」をご覧ください。

なお、この調査票は秘密扱いとし、統計以外の目的に使うことは絶対ありませんので、ありのままを記入してください。

記入していただいた調査票は、　　月　　日までに同封の封筒に入れて返送してください。

担当部署名又は担当者名	ふりがな
電話番号	－　　－　　（内線　　）

【１】　栽培面積、収穫面積及び集荷量について

本年産の栽培面積、収穫面積及び集荷量について、記入してください。

	栽培面積	うち、収穫面積	集荷量
前年産	ha	ha	t
本年産	.	.	

注：作付面積は単位を「ha」とし、小数点第一位（10ａ単位）まで記入してください。

【２】　面積、生育、作柄及び被害の状況について

１　栽培(収穫)面積の増減要因等について記入してください。

主な増減要因（転換作物等）について記入してください。

主な増減地域及び増減面積について記入してください。

貴団体で把握している、管内の貴団体へは出荷されない栽培団地等の状況（栽培面積、栽培地域等）を記入してください。

引き続き次のページへお進みください。

２　生育、作柄及び被害の発生状況等について記入してください。

【問い合わせ先】

名　　称

住　　所

担 当 者 名

電 話 番 号　　ＦＡＸ番号

秘

総務省承認　No.２６８５４
承認期限　　平成22年３月31日まで

農林水産省

4	7	5	1

⇦ ⇦ ⇦ 入力方向

指標コード																							
年産				局・農政事務所			センター			市区町村			旧市区町村			農業集落			調査区			経営体		
2	0	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:

平成　　年産　特定作物統計調査

こんにゃくいも収穫量調査

郵送調査票（経営体用）

この調査は、農林水産省が統計報告調整法第４条第１項の規定に基づき総務大臣の承認を受けた承認統計として実施するものです。
記入する前に、「調査票の記入の仕方」をご覧ください。
なお、この調査票は秘密扱いとし、統計以外の目的に使うことは絶対ありませんので、ありのままを記入してください。

記入していただいた調査票は、　　月　　日までに同封の封筒に入れて返送してください。

☆　調査票の記入に当たっては、鉛筆またはボールペンではっきりと記入してください。
☆　調査及び調査票の記入に当たって、不明な点等がありましたら、下記の「問い合わせ先」にお問い合わせください。

【問い合わせ先】

名　　称 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

住　　所 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

担当者名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話番号 ＿＿＿＿＿＿＿＿　ＦＡＸ番号 ＿＿＿＿＿＿＿＿

【１】　生産の状況について

１　本年栽培したこんにゃくいもの栽培面積、本年産のこんにゃくいもの収穫面積、出荷量及び自家消費等を記入してください。

記入上の注意

・　こんにゃく（製品）に加工して直売所等で販売したものは、生いもに換算した重量で記入してください。

・　栽培面積欄には出荷の有無に係わらず本年、栽培した全ての面積を記入してください。

・　収穫面積欄には本年出荷、販売したものや、自家消費したものを含めたすべての面積を記入してください。
　なお、翌年の種芋とする目的で掘り

あ農協や市場へ出荷したものや、消費者に直接販売したものなど、販売した全ての量を記入してください。
　なお、今後販売する目的で保管しているものも出荷量に含めてください。ああああああ

　自家用、贈答用に利用するものを記入してください。

	栽培面積 ① ha（町） a（反）（畝）	収穫面積 ② ha（町） a（反）（畝）	収　穫　量 ③=④+⑤ kg	出　荷　量 ④ kg	自家消費等の量 ⑤ kg
こんにゃくいも	： ： ： ： ：	： ： ： ： ：	： ： ： ： ： ：	： ： ： ： ： ：	： ： ： ： ： ：

注：　出荷量を「俵」、「袋」、「コンテナ」等の数で出荷量を把握されている場合は、「kg」に換算して記入してください。（例：１コンテナ当たり100kgで15コンテナ集荷した場合→1,500kg）

２　１で記入した出荷量について、該当する出荷先に出荷した割合を記入してください。

記入上の注意

・　「消費者へ直接販売」とは、直売所、庭先販売、宅急便、インターネット販売などです。

・　「その他」は、加工業者、消費者等へ直接販売、市場、農協以外の集出荷団体及び農協のいずれにも該当しない出荷先の割合を記入してください。なお、〔　　〕

単位：％

	加工業者	消費者へ直接販売	市場	農協以外の集出荷団体	農協	その他	合計
こんにゃくいも						〔　　〕	100%
	： ： ：	： ： ：	： ： ：	： ： ：	： ： ：	： ： ：	

【２】　作柄及び被害の状況について

１　本年産の作柄・被害の状況は、前年産に比べてどうでしたか。

（それぞれ該当する欄に○印を記入してください。）

	良かった	前年並み	悪かった
作柄の良否	○	○	○

	少なかった	前年並み	多かった
被害の多少	○	○	○

２　被害が多かったとお答えの場合は、その要因について記入してください。

（該当するすべての欄に○印を記入してください。）

	高温	低温	日照不足	多雨	少雨	台風	病害	虫害	その他
被害の要因	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【３】　その他

本年、こんにゃくいもの収穫がなかった方にお聞きします。

（該当するものに○印を記入してください。）

○	本年は収穫しなかったが、来年以降は収穫する予定がある
○	来年以降も収穫をする予定はない
○	全てを委託しているのでわからない

調査はここで終わりです。ご協力ありがとうございました。

秘

総務省承認　No.２６８５５
承認期限　　平成22年３月31日まで

農林水産省

4	7	6	1

⇦ ⇦ ⇦ 入力方向

	年　産	局・農政事務所	センター	市区町村	客体番号
指標コード	2 0				

平成　　年産　特定作物統計調査
い作付面積調査・収穫量調査
郵送調査票（団体用）

この調査は、農林水産省が統計報告調整法第４条第１項の規定に基づき総務大臣の承認を受けた承認統計として実施するものです。

記入する前に、「調査票の記入の仕方」をご覧ください。

なお、この調査票は秘密扱いとし、統計以外の目的に使うことは絶対ありませんので、ありのままを記入してください。

記入していただいた調査票は、　　月　　日までに同封の封筒に入れて返送してください。

担当部署名又は担当者名	ふりがな
電話番号	－　　－　　（内線　　）

【１】　生産の状況について

１　本年産の「い」及び畳表の生産農家数について、それぞれ記入してください。

	い生産農家数	畳表生産農家数
前年産	戸	戸
本年産		

２　本年産の「い」の作付面積、収穫量及び畳表生産量について、記入してください。

	作付面積	収穫量	畳表生産量
前年産	ha	t	千枚
本年産	.		

注：作付面積は単位を「ha」とし、小数点第一位（10ａ単位）まで記入してください。

【２】　農家数、面積、生育、作柄及び被害の状況について

１　農家数の増減理由について記入してください。

引き続き次のページへお進みください。

2　作付面積の増減要因等について記入してください。

主な増減要因（転換作物等）について記入してください。

主な増減地域と増減面積について記入してください。

貴団体で把握している、管内の貴団体へは出荷されない作付団地等の状況（作付面積、作付地域等）を記入してください。

3　生育、作柄及び被害の発生状況等について記入してください。

【問い合わせ先】

名　　称

住　　所

担 当 者 名

電 話 番 号　　ＦＡＸ番号